

<タイプ1>

- ・いつも配布しているA4白紙は何に使用するのですか？
- ・レポート作成で大切なのは、自分のオリジナルの言葉で発信していくことだと思った。
- ・梅棹忠夫の「何にも知らないことはよいことだ」という言葉が良かった。
- ・エニアグラムのウイングのプリントは面白かった。
- ・引用せずに自分の言葉(オリジナル)だけで書くというのはすごいと思います。
- ・久恒先生の先生である梅棹さんに私も会ってみたい。
- ・7回の講義で出てきた偉人たちは普通の人か思いもつかないような事や発言をするなどと思った。
- ・司馬遼太郎さんは名前は知っていたが、顔を見たのは初めてで、色々やっていた人なんだと思った。
- ・師匠の存在が大きい。いなければ何もできないと思う。

<タイプ2>

- ・自分のロールモデルとなる方を見つけ、その理想に少しでも自分を近づける様意識したいと思う。梅棹忠夫さん、引用を使わずオリジナルというのは凄い。彼の発言集を見ると、非常に興味深いものが多かったので、調べてみます。
- ・梅棹忠夫のようにオリジナリティのある発信を出来る人間になりたい。
- ・自分も「本物」の人間になろうと思った。
- ・「飛翔する構想力」に出てきた宮崎駿さんがとてもすごい人だと思った。
- ・人生はまだこれからだし、頑張っていこうと思った。
- ・「フロンティア」というものは間違いなく興奮する。という言葉が面白いと思った。
- ・本当に素晴らしい人はしっかりとした信念、志があり、それが周りに影響を与えていると思います。
- ・エニアグラムのウイングの話聞いて、同じタイプなのになぜ性格や考え方が少し違うのか分かった気がした。自分はタイプ1のウイングが発達したタイプだと感じた。司馬遼太郎さんの「人の諸処の愚の第一は、他人に完全を求めることだ」という言葉が印象に残っている。梅棹忠夫さんの「知的生産の技術」をこの機会に読み、自分の認識や価値観といった考え方を豊かにしていきたい。
- ・岡本太郎のように型にとらわれない人間になりたい。
- ・初めて知った人がいた。
- ・昨日特別講座でも感じましたが、図解はちゃんと整えられて分かりやすかった。

<タイプ3>

- ・ゲメインシャフトとゲゼルシャフトは、共同体組織と機能体組織ですが、どんな違いがあるのですか？
- ・ある程度絞れてきた。
- ・本物の条件は、前日の特別講義と同じ内容だった。
- ・レポートは戦国大名の島津家の誰かにします。
- ・司馬遼太郎さんについて学んだ。図書館などで借りて作品に触れてみたいなど思った。
- ・何らかのものを持続させる力が強く、友または敵と切磋琢磨して生きていたんだと考えのヒントをもらった。
- ・司馬遼太郎の独特の理論と考え方は今にはないものだと思う。この人の本を読んでみたい。今までの講義の中で手塚治虫が一番印象に残ってます。
- ・一人に絞るのは悩む。怒涛の仕事量の偉人達が一番気になる。
- ・ワンちゃんかわいそうでした。司馬遼太郎先生の「坂の上の雲」を見たことがあります。
- ・自分がどのような人物になるべきか少しずつ分かってきた気がする。
- ・先生咳してましたが大丈夫ですか？

<タイプ4>

- ・日本史が好きだったので司馬遼太郎さんに興味を持った。岡倉天心がまた出てきて、この人はすごく偉大な方だと思った。
- ・久恒先生の講演の準備の仕方が参考になったので、自分も何かを発表する際は真似してみようと思った。修養・鍛錬・研鑽と飛翔する構想力、この2つが大切ではないかと思うので、この2つの中から選ぼうと思います。
- ・偉人達は、本物の条件の7つの要素に精通するということが分かった。
- ・特別講義の、この世を去っても影響を与える存在というのが印象に残りました。怒涛の仕事量を、自分の条件として設けています。

<タイプ5>

- ・有名な人の生き方はすごい。司馬遼太郎の本を読みたい。
- ・目標とする人を作りたい。この講義は楽しく、言葉一つ一つを大切にしたい。
- ・個人的に気になった人物が出てきたら、とことん調べてみようと思った。
- ・持続する志。私にとっては難しい。持続できれば社会人としてやっていける気もする。
- ・司馬遼太郎から、今と違う「何か」を見出すため、その時代に目を向けてみる理由作りのようなものを自ら考える必要があるのだと感じた。梅棹忠夫の「本を読み過ぎるとばかになる。読む本の数はなるべく減らしてその分歩いて自分の頭で考えろ」という言葉に衝撃を受けた。今日で7つ終わったが、手塚治虫先生をモデルにしたい。仕事をストイックにこなす姿勢に感動を覚えた。
- ・いつもより人が多く騒がしかった。
- ・司馬遼太郎を見たことがあるという事に驚いた。この講義を受ける前と後では世界観が大きく異なっている。
- ・先生の講演の資料の作り方は参考になった。一度ダウンロードしてから動画を流せば詰まらずに見られるのではないのでしょうか？
- ・新たな考えや発見ができると思う。
- ・ウイングについてよく知れた。タイプによって違って面白い。
- ・古賀政男さんが気になった。
- ・柳田國男さんについて詳しく知りたいと思った。

<タイプ6>

- ・なぜ中期から和風を提唱しましたか。規律がありますか。司馬遼太郎の作品は中国で流行しています。日本語のローマ字化の運動はどうですか？ベトナム、韓国、朝鮮は漢字を破棄した。
- ・司馬遼太郎さんは感慨深いものがあつた。柳田さんの本筋の学問を起つ決意にはとても驚愕した。
- ・山本貴光の言葉である「マンダラの作者はこの世を去った...」とあるが、マンダラという言葉は具体的にどういった意味なのでしょう？持続する志に共感できる所がある。私は持続というものが重要であると考えています。
- ・司馬遼太郎さんが陸軍・戦車兵だったことを初めて知った。梅棹忠夫さんの目が見えないのに本を書くことは大変だと思う。すごいと思った。
- ・戦時中の日本のトップは誰よりも子供だったに違いない。
- ・司馬遼太郎について詳しく学習できてよかった。この人の一言一言はとても意味が深く、しっかり自分の意見を言える人だと思った。司馬さんの本を読みたい。
- ・司馬遼太郎の生い立ちや人間像が聞けて良かった。再び読み返そうと思った。
- ・司馬遼太郎の作品はいろいろ評価されているので一度読んでみたいと思った。梅棹忠夫が、「何にも知らないことは良いことだ」と言っているの、自分で経験し考えを発展させて勉強することがよいことだと感じた。
- ・講義で紹介された人物の志を手本に、毎日生活するよう心掛けたい。
- ・日本の歴史に興味を持つようになった。梅棹忠夫先生から「図解は大事なこと」と評価された久恒先生は凄と思った。
- ・NHKの大河ドラマ「龍馬が如く」の作者を初めて知った。
- ・梅棹さんが目が悪くなってからの方が本を書いていたことがすごいと思った。

<タイプ7>

- ・司馬遼太郎に関するおすすめの本はありますか？
- ・無理矢理風邪を治したとおっしゃってましたが、どのように直したのですか？
- ・司馬遼太郎が描いた日本史は独特であり、戦後の日本人に勇気を与えたことに感動した。私は久恒先生の生涯(大学教授になってから大学でやっていること、今日までの人生)をロールモデルとして書きたい。
- ・手塚治虫が漫画を書きつづけた熱意を見習いたい。
- ・石ノ森章太郎と手塚治虫の2人のモチベーションは成果やお金ではなく、何かとも思えるレベルだ。
- ・文章で一番大事なことは分かるということを分離しちゃだめ。心に響いた。
- ・知らないのがもったいない人がたくさんいると思った。
- ・久恒先生の講演や講義の準備の仕方についてのお話はとても為になった。細かいことまで想定して準備することが大切。今後の参考にしたい。日本への回帰という人は、とても大事なことだと思った。世界で活躍する日本人は多いが、愛国心を持っている人は親近感が持てる。
- ・「龍馬伝」を見て高杉晋作と坂本龍馬に興味を持った。二人を授業で取り上げてほしい。
- ・独自の考えで自分の納得のいく人生を送りたいと思った。アインシュタインの名言を読んだが、どれも納得でき感動した。
- ・毎週の講義を楽しみにしている。人類の未来という大きな内容には驚きました。
- ・リレー講座の久恒先生の話を知りたかった。春に履修したので今回は聞くことができず残念です。エニアグラムは面白いですが少し飽きてきた。アンケートは毎回楽しみにしています。非常に面白い。授業の冒頭で学生の意見への回答してくれるシステムは学生からするとありがたい。授業へのモチベーションが上がります。司馬遼太郎の映像を見て、歯がきれいであったことが気になった。相当のお金持ちだったのでは？一つの映像で様々なことが見えます。今日で7つ終わったが一番印象に残ったのは2番「敵との切磋、友との拓磨」でした。
- ・日本への回帰ということで、昨日の特別講義の話と合わせると、海外に行けと言われていたようです。
- ・司馬の軍事体験の話はリアリティを感じた。

- ・レポートにする内容を決めたので取り掛かろうと思う。
- ・確かにタイプ7は完全主義者ではない。
- ・先生と同じように黄色のペンを使いたいと思った。毎回タイプの話が当てはまりすぎて凄く面白いと思う。
- ・エニアグラムのウイングが細かく分類されていて面白いと思った。様々な人物の名言や人生が知れてよかった。
- ・梅棹忠夫さんが、今では極々普通の事であるカメラの日付機能について提案したことに驚いた。
- ・梅棹忠夫さんの「何にも知らないことは良いことだ」という言葉が気になった。
- ・偉人と言われる人は本当にすごい。
- ・司馬遼太郎の本を読みたくなった。偉人の近くには偉人がいる。なぜだろう？
- ・梅棹忠夫を初めて知った。「何も知らないことは良いことだ」にびっくりした。司馬遼太郎は、40代のほとんどを坂の上の雲にささげたいけれど、本を書くことは大変なんだと思った。そろそろロールモデルについて考えようと思う。
- ・司馬遼太郎の戦争の時戦車にやすりをかけたエピソードが面白かった。
- ・12月から就活が始まり社会人としての準備を始める。学生の内に司馬遼太郎の本を1冊読んでおこうと思った。
- ・板垣退助の話が面白かった。稲垣退助から後藤新平へ行く流で2人をストーリーの流れで覚えることが良かった。
- ・梅棹忠夫について書いてある本を読みたいと思った。
- ・原発、3.11を予想したという話が驚いた。7つの話が終わり、自分はまだまだ勉強不足だと思った。
- ・司馬遼太郎の「坂の上の雲」を、社会人になる前に読んでおこうと思った。
- ・司馬遼太郎の「今の日本人はだめだ」「明治の人と人種がちがう」という様な言葉に驚いた。
- ・司馬遼太郎の映像は楽しかった。野球選手に絞ろうと思う。本物の条件は面白い。
- ・Facebookを見て、愛犬のちょこらちゃん。天国でもかわいらしく愛おしく。

<タイプ8>

- ・心に火を灯されるような刺激のある講義だった。
- ・学問とは何か、を聞きなるほどと思った。オリジナル精神がいいです。
- ・古き良き、日本の素晴らしさが知れたと思う。
- 1「仰ぎ見る師匠」の存在というのは、独特で真似できない人が多い。
- 2「敵との切磋、友との拓磨」は、しっかり自分の考えでわが道を突き進んでいると思う。
- 3「持続する志」は、政治関係の人、社会的思想を持っている人が多い。
- 4「怒涛の仕事量」は、新しい分野の開拓をした有名な人物が多い。
- 5「修養・鍛錬・研鑽」は、固い頭の持ち主が多い。
- 6「飛翔な構想力」は、あらゆる分野で活躍したことで名前を知られている人が多い。
- ・梅棹忠夫さんが両目を失っても前向きに進んでいく姿がすごいと思った。自己を分析するために図解を作ろうと思いません。
- ・司馬遼太郎が気になった。直木賞受賞したのだからすごい人物だ。
- ・司馬さんの作品を読んで理解してみたい。面白そう。
- ・梅棹忠夫さんの「自分の足で歩いて、自分の目で見て、自分の頭で考える。これが大事や」この言葉が心に残った。
- ・司馬遼太郎の「龍馬がゆく」「11番目の志士」が好き。
- ・梅棹忠夫さんの「引用しない」には深い内容だと思った。
- ・本当のところどうだったのか、タイムマシンがあったら聞いてみたい。

<タイプ9>

- ・先生は本を読むときに何か気にしながら読んでますか？
- ・司馬遼太郎に関して深く知ることができた。文献など本屋で買いたいと思った。
- ・7つ終わり、私が一番興味を持ったのは、「敵との切磋、友との拓磨」でした。
- ・日本にはたくさんの偉人がいると思った。
- ・エニアグラムは当たっている。
- ・梅棹忠夫先生の他の人の本から引用についての話がとても印象に残りました。引用をするなら自分の考えをしっかりと持っておくことが大切だと思う。
- ・司馬遼太郎は後世に歴史を伝えるべく本を書いたというのは、とても、今の日本にとって重要なものになったと感じた。

<タイプ?>

- ・司馬遼太郎は「龍馬がゆく」しか知らなかった。読んだ方が良い一冊を教えてください。また、先生の価値観を変えた本があれば教えてください。
- ・偉人達は強力な自分を持っている。何かを成す為には、その行動の原動力がなくてはなりません。
- ・偉人と呼ばれる人たちは、みな、壮絶な人生を歩んでおり、そういった点から人と違った新しい考え方が生まれたのではないかと思います。
- ・昔においても、現在においても大事な考えとされていることは構想力であると考えられます。私も構想力を大事にしていきたいと思えます。
- ・私は人々の道徳やモラルという点では、戦後どんどん良くなっていると思っています。今ほどモラルが全体の人々に根付いている時代は、昔の日本にはなかったと思う。
- ・紹介してくれる人物の話は、とても面白く、ためになると思う。修養・鍛錬・研鑽の話が一番印象深く、面白い内容だった。
- ・スピーチ前の準備について知れてよかった。飛翔する構想力、手塚治虫が良かった。
- ・コンクリのシミの話は、以前テレビで見たことがあったので、一度本物を見てみたい。
- ・戦争の映像が苦手です。いつまでも平和でいたい。
- ・「本物の人は人が言ったことを引用して論文などかかない」とも深い。
- ・司馬遼太郎は作品の一つ一つがミリオンセラーなみに大ヒットするのがとてもすごい。
- ・先生は司馬遼太郎のこと好きなんだなと思った。演歌歌手の話も聞いてみたい。
- ・野口英世の本を読んだことがあり、一番気になります。
- ・梅棹忠夫さんの話はとても興味が湧いた。「なんにもしらないことはよいことだ」この言葉が心に響いた。
- ・梅棹さんの素晴らしい逸話がたくさん聞けました。レオナルド・ダヴィンチに似ているというのは納得できるくらい天才だと思いました。
- ・日本のものをしっかり取り戻すというのはすごいことだと思う。
- ・司馬遼太郎の映像が興味深かった。レポートは「山本五十六」にしたら面白いのではないかな。
- ・司馬遼太郎の本が読みたくなった。梅棹忠夫が失明してから3年間で40冊本を書いたというのに驚いた。

- ・レポートは楽天の田中投手にしようと思う。
- ・偉業を成し遂げた人たちは、やはり信念と努力が桁違いであると感じた。
- ・司馬遼太郎さんについて学んだ。「日本人はなぜバカになったか」という今日一番最初にみた動画の一言が、とても印象に残った。先生の授業は、他の授業にない教養が身につくなあと思いました。
- ・先生の授業は、昔の人間性を実感させてくれて、本当にためになります。
- ・司馬遼太郎という人物が持つエネルギーに驚く。
- ・まだ迷っているの、そろそろ一人にしばらくしたいと思います。
- ・歴史上の人物の経歴・人生観を知るとは、とても刺激になる。私も偉大になりたい。
- ・「日本への回帰」今の日本に凄く欲しい言葉だと思う。日本人らしい感性が自分から失われている。芸術や文化を楽しみ余暇すらない。スマホを眺めファーストフードを食べ、ひたすら安いものを選ぶ。自分をすてた人間が多すぎる。「自分の足で歩いて、自分の目で見て、自分の頭で考える」。オンリーワンを磨く就職先に就きたい。このアンケートを書いている、希望が見えた。